

採用先企業
インタビュー

■木材業務部 港運課



伊藤 昌臣 様 山本 司 様



インタビュー風景

課長 伊藤 様 (左側)

監督 山本 様 (右側)

坂野 様 (中央)

Q.1 貴社の従業員数とポリテクセンターの修了者数を教えてください。

伊藤：企業全体としてはパート、アルバイトの方を含め約 230 名の方が従事しています。
 その中で我々木材事業部は総勢 74 名、内訳は職員 33 名、作業員 41 名となっています。
 ポリテクセンターの修了生は現在 11 名が在籍しています。

Q.2 ポリテクセンターの修了生に対する印象や評価、貴社に対する貢献などを教えてください。

伊藤：現在従事している修了生の方は「仕事に対して真面目に取り組んでいる」印象です。
 現場作業に必要な「大きな声が出せる」、日常の挨拶もそうですが基本的なことはできているのではないかなと思います。

山本：我々の仕事は安全に業務を遂行する上で「大きな声を出す」事はとても重要な要素であり、それにより注意喚起を行うことで危険の回避に繋がります。今まで入社された修了生の方は「大きな声」が出せますし、中には率先して始業前に入社され、円滑に仕事ができるよう道具の段取りをしてくれる方もおり、真面目なだけでなく次は何をしたらよいかなどを考えて行動できる方が多い印象です。

Q.3 港湾荷役科受講者に対する要望（技術面、礼儀面など）を教えてください。

伊藤：まずは社会人として挨拶ができる。作業に関しては機械操作など資格取得に向けた基本的な事だけではなく、応用実習などの「+αの部分」もしっかり学んでいただき、実際の業務で即戦力となれるような人材を目指してほしいです。特にお願いしたいのは安全第一でコミュニケーションをとりながら協力して作業ができる人材が望ましいです。

山本：我々の業務でいわゆる「一人前」になるには通常 5~6 年以上は掛かるのですが、港湾荷役科修了生の方は資格を取得し、機械操作や作業の基本を理解しているので、早い方だと 1~2 年で「一人前」と概ね把握しています。学んだことが活かせるよう頑張ってください。

Q.4 ポリテクセンター名古屋港の受講者にメッセージをいただけますか？

伊藤：名古屋港での仕事とは、物流を支える必要かつ重要な仕事ですので、誇りを持って働けるのではないかと考えています。技術面では採用後に上司や先輩方が丁寧に仕事を教えるので心配しなくても良いですが、港湾で取り扱う貨物は非常に大きく、重量物となるので、ポリテクセンターで訓練を受講する際は常に「安全意識」を持って頂きたいです。

取材にご協力いただいた会社概要

事業所名
所在地
事業内容
ホームページ

名古屋港木材倉庫株式会社
 名古屋市南区加福本通 2 丁目 1 番地
 一般港湾運送事業、倉庫業、通関業、木材検量事業、港湾労働者派遣業等
<https://meimokuso.co.jp/>



本社



飛島村西浜（木材業務部）と船内荷役風景



取材には伊藤様だけでなく、監督の山本様にもご同席いただきました。習得した資格や知識を生かして活躍されている坂野様や修了生の状況をお聞きし、大変励みになりました。ご多忙のところ、ご協力ありがとうございました。